

かなしん景況レポート



目 次

景気動向	地域経済(全業種総合)	2
	業種別経済	6
	特別調査	18
お客様景況インタビュー	株式会社 北村商会 「～必要とされる企業を目指して～」	19
トピックス	「神奈川県金融経済概況(日本銀行横浜支店:2023年9月)のポイント」	3
	「訪日外客数(日本政府観光局)と訪日外国人旅行消費額(観光庁:1次速報)」	9

調査概要

調査時期	令和5年8月17日から令和5年9月5日まで
調査地域	横須賀市・逗子市・三浦市・三浦郡葉山町・鎌倉市・横浜市・川崎市・藤沢市・茅ヶ崎市 大和市・綾瀬市・高座郡寒川町
調査方法	調査員による面接聞き取り方式又は対象企業先による直接記入方式
分析方法	各質問項目で、「増加」(上昇)したとする企業が全体に占める構成比と、「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(D.I.)を中心にして分析を行いました。
回答率	調査先数 当金庫取引先 500先 回答先 475先 回答率 95.0%

全業種総合天気図

	2022年10～12月	2023年1～3月	2023年4～6月	2023年7～9月	2023年10～12月 来期予想
全業種総合					
製造業					
卸売業					
小売業					
サービス業					
建設業					
不動産業					
低調					好調
この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成したものです。					

全業種総合

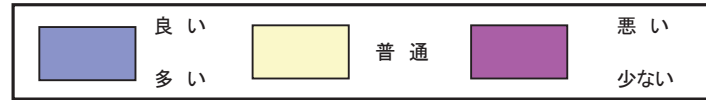
～業況は建設業、製造業、小売業は改善、建設業は唯一プラス水準に～

当期実績(2023年 7～9月期実績)
来期予想(2023年10～12月期予想)

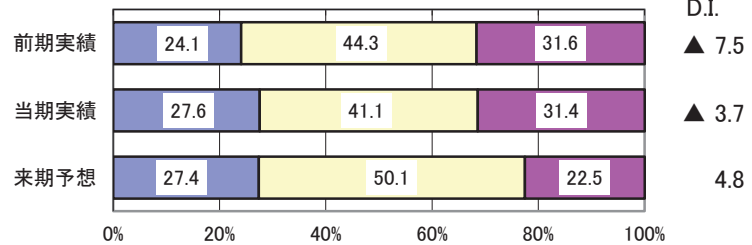
1. 業 況

当期 予想
☁️ ➡️ ☁️

当期の業況判断D. I. は▲3.7と、対前期比3.8ポイントの改善となりましたが、前回調査時における今期見通し(▲1.4)を2.3ポイント下回りました。業種別に見ると建設業は唯一プラス水準に転じ、製造業、小売業もマイナス水準ながら改善となりました。一方で卸売業、サービス業、不動産業は低下となりました。来期予想D. I. は4.8と、さらに8.5ポイント改善し、プラス水準に転じる見込みです。



業 況



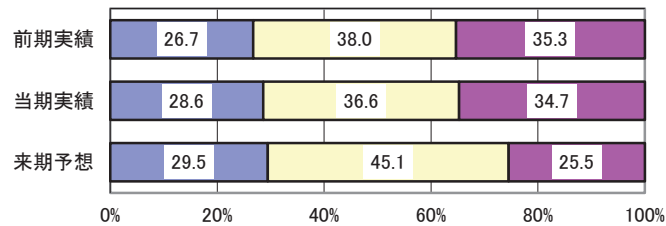
D.I.
▲ 7.5
▲ 3.7
4.8

2. 売上額

当期 予想
☁️ ➡️ ☁️

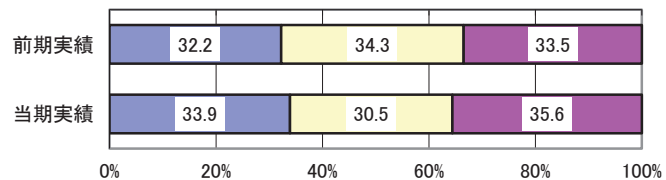
当期の売上額判断D. I. は▲6.1と、対前期比2.4ポイントの小幅改善となりました。業種別に見ると製造業、小売業、建設業は改善となり、卸売業は横ばいとなりましたが、建設業と並び、0.0ポイントで最も良い水準の業種となりました。対前年同期比の売上額判断D. I. は▲1.6と、4～6月期から0.4ポイントの小幅低下となりました。来期予想D. I. は4.0と、10.1ポイント改善し、プラス水準に転じる見込みです。

前期比売上額



D.I.
▲ 8.5
▲ 6.1
4.0

前年同期比売上額



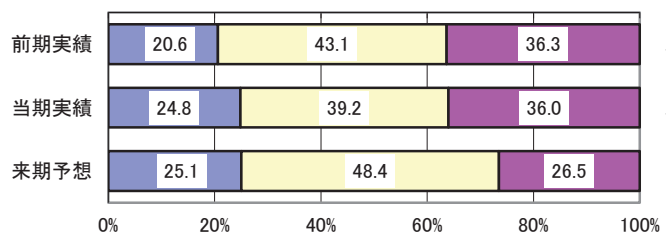
D.I.
▲ 1.2
▲ 1.6

3. 収 益

当期 予想
☔ ➡️ ☁️

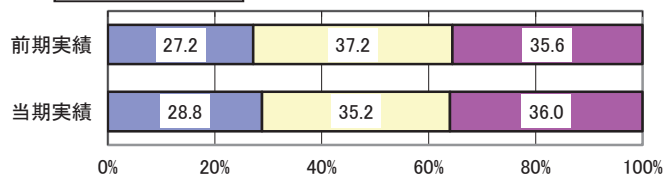
当期の収益判断D. I. は▲11.1と、対前期比4.6ポイントの改善となりました。業種別に見ると売上額同様、製造業、小売業、建設業は改善となり、卸売業は横ばいとなりました。大幅改善となった建設業は、マイナス水準ながら、最も良い水準の業種となりました。対前年同期比の収益判断D. I. は▲7.1と、4～6月期から1.2ポイントの小幅改善となりました。来期予想D. I. は▲1.4と、9.7ポイントの改善となる見込みです。

前期比収益



D.I.
▲ 15.7
▲ 11.1
▲ 1.4

前年同期比収益



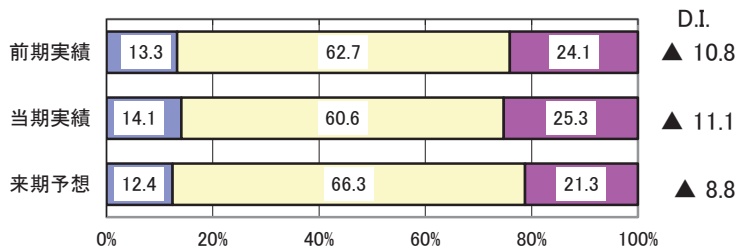
D.I.
▲ 8.3
▲ 7.1

4. 資金繰り

当期 予想
☔ → ☁

当期の資金繰り判断D.I.は▲11.1と、対前期比0.3ポイントの小幅低下となりました。業種別に見ると、売上額、収益同様、サービス業、不動産業を除く4業種で改善となりました。不動産業は低下となりましたが、前期に続きプラス水準を維持しました。来期予想D.I.は、▲8.8と2.3ポイントの小幅改善となる見込みです。

資金繰り

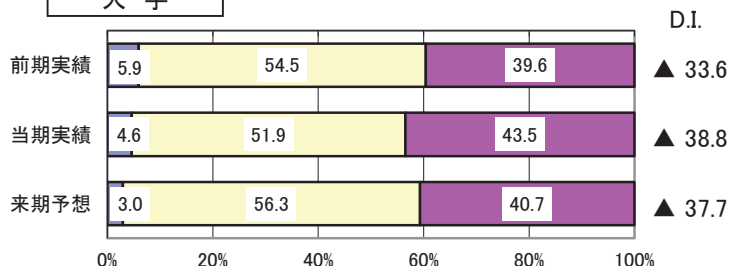


5. 雇 用

当期 予想
☔ → ☔

当期の雇用判断D.I.（過剰-不足）は▲38.8と、対前期比5.2ポイントの低下となりました。業種別に見ると、サービス業が唯一改善となりましたが、不動産業の▲21.1が最も良い水準となっており、依然として全業種で厳しい数値になっています。来期予想D.I.は▲37.7と、人手不足感は小幅に緩和する見込みです。

人 手



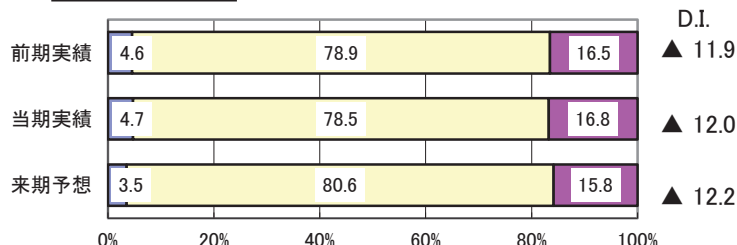
※雇用判断D.I.(過剰-不足) マイナスは人手不足

6. 設備状況

当期 予想
☔ → ☔

当期の設備状況判断D.I.は▲12.0と、対前期比0.1ポイントの小幅低下となりました。来期予想D.I.は▲12.2と、不足感は小幅に強まる見込みです。

設備状況



神奈川県金融経済概況(日本銀行横浜支店:2023年9月)のポイント

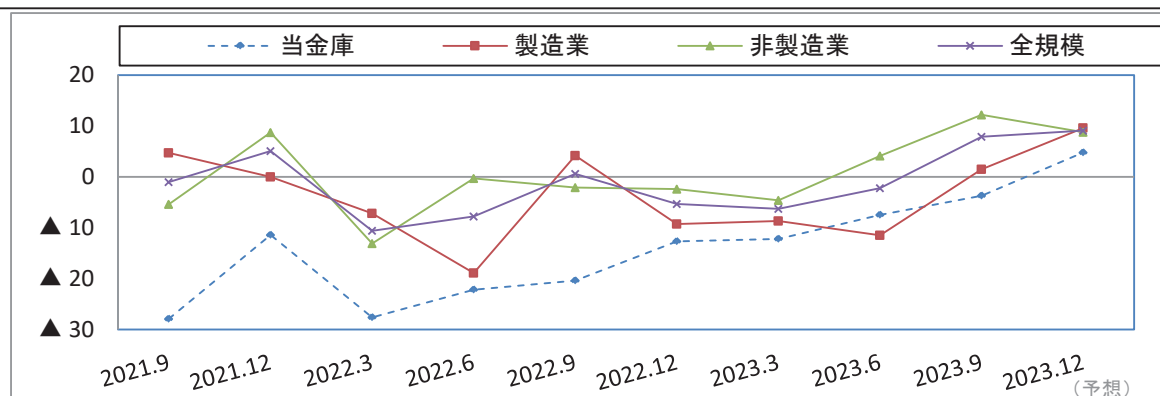
【総括判断】 海外経済の回復ペース鈍化の影響などを受けつつも、緩やかに回復している。
(前回判断据え置き)

【主な個別項目の特記事項】

- 生産：IT関連財需要の弱さを受けつつも、持ち直している。(前回判断据え置き)
 - ・輸送機械は、供給制約の影響の緩和に支えられて、回復している。
- 個人消費：一部に弱めの動きもみられるものの、回復している。(前回判断据え置き)
 - ・百貨店販売額は持ち直しており、スーパー販売額は底堅く推移、新車登録台数は回復している。
- 住宅投資：横ばい圏内の動きとなっている。(前回判断据え置き)
 - ・23年7月の新設住宅着工戸数は、貸家、分譲マンション、分譲戸建て、持家がいずれも減少したことから、前年を下回った。

【先行きリスク要因】 海外経済の減速、コスト高（物価高）等

法人企業景気予測調査(横浜財務事務所:全規模、製造業、非製造業)、当金庫業況DIの推移



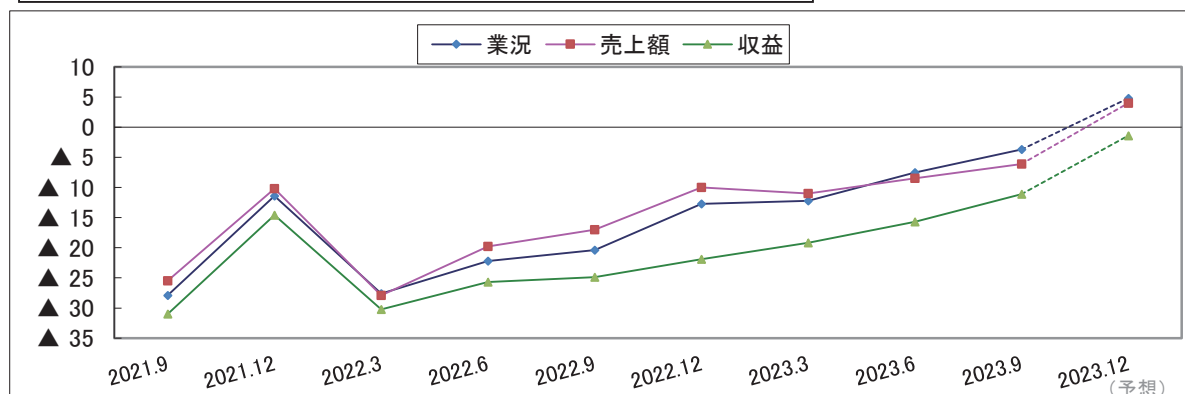
●法人企業景気予測調査（令和5年7～9月期）

- ・大企業も含めた全規模・全産業の業況判断D. I. は7.9と、対前期比10.1ポイント改善し、4四半期ぶりにプラスに転じました。来期は9.1と、さらに1.2ポイント改善する見込みです。
- ・製造業の業況判断D. I. は1.5と、13.0ポイント改善しました。半導体など部品の供給制約が改善し、自動車関連企業が堅調で、4四半期ぶりにプラスに転じました。
- ・非製造業の業況判断D. I. は12.2と、対前期比8.1ポイント改善しました。人流が回復し、インバウンド（訪日外国人）の増加もあり運輸業の業績が回復し、2期連続プラスとなりました。
- ・製造業では自動車・同付属品製造業が、非製造業では運輸業や情報通信業が改善に寄与した業種となりました。

●当金庫景気動向調査

- ・全業種の業況判断D. I. は▲3.7と、対前期比3.8ポイントの改善となりました。来期は4.8と、8.5ポイント改善しプラスに転じる見込みです。製造業と非製造業で集計したところ、当金庫では製造業は▲6.5と、2.1ポイントの改善、非製造業は▲3.1と4.1ポイントの改善となりました。

業況・売上額・収益D.I.の推移(全業種総合:当金庫)

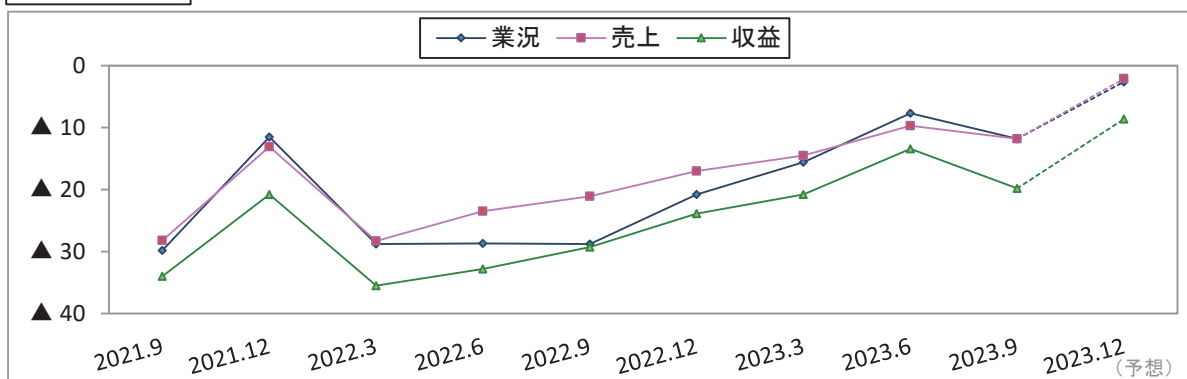


2023年7～9月期の業況判断D. I. は▲3.7と、対前期比3.8ポイントの改善となり、前回調査時における今期見通し（▲1.4）を2.3ポイント下回りました。売上額判断D. I. は▲6.1と、対前期比2.4ポイントの小幅改善となり、収益判断D. I. は▲11.1と、対前期比4.6ポイントの改善となりました。

「インボイス制度を機に生産管理システムの構築に取り組む。建機業界をウォッチして、これからの業況回復に対応する。」（製造業）、「2024年法改正に向け先行投資として新たに営業所を開設する予定。また、人手不足解消のため、10月よりドライバー1名増員する予定である。」（サービス業）、「5～10年後に向け、人手不足が業界全体で加速すると思う。効率よく働ける仕組みづくりが急がれる。」（建設業）等、先行きは依然として不透明ながら、近い将来に備えるコメントも多く寄せられました。

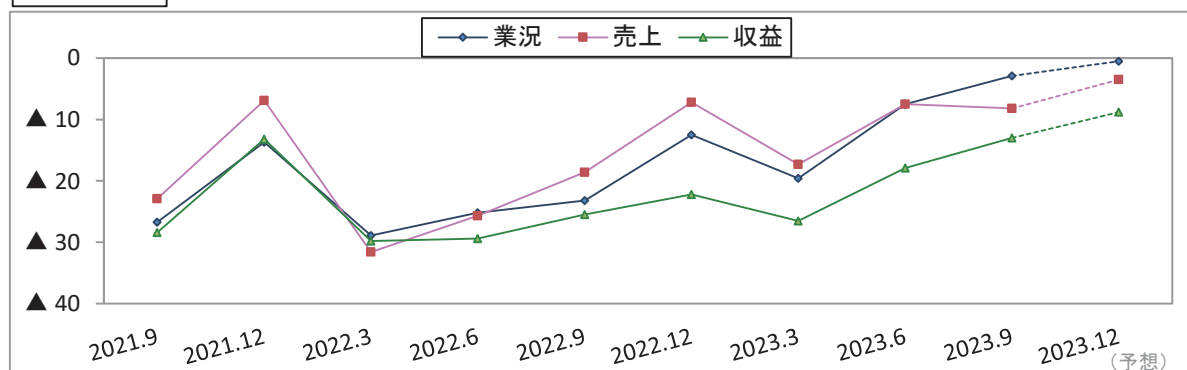
地区別の業況・売上・収益の推移(当金庫)

横須賀地区



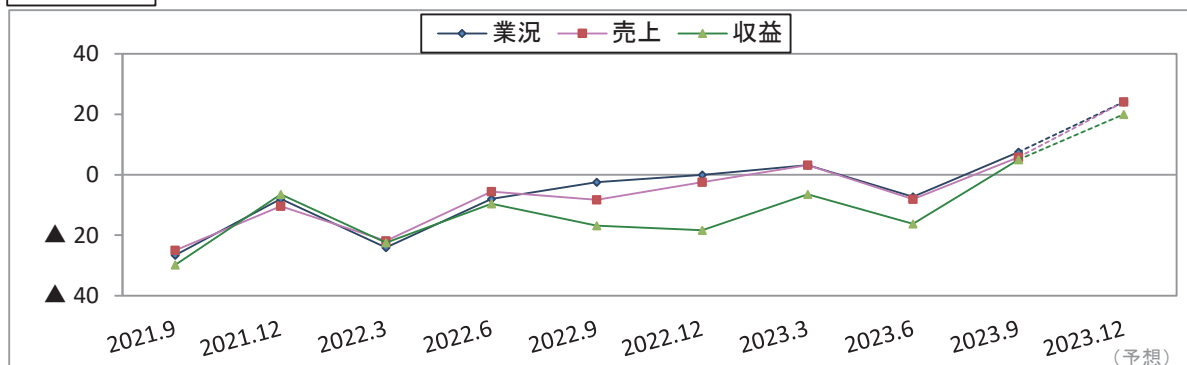
横須賀地区の2023年7～9月期の業況判断D. I. は▲11.8と、対前期比4.1ポイントの低下となり、売上額、収益についても低下となりました。来期予想については、業況判断D. I. は▲2.6と9.2ポイント改善となり、売上額、収益についても改善を見込んでいます。

横浜地区



横浜地区の2023年7～9月期の業況判断D. I. は▲2.9と、対前期比4.6ポイントの改善となり、収益も改善となりましたが、売上額は低下となりました。来期予想については、業況判断D. I. は▲0.5と、2.4ポイントの小幅改善となり、売上額、収益についても改善を見込んでいます。

藤沢地区

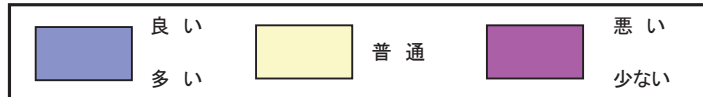


藤沢地区の2023年7～9月期の業況判断D. I. は7.5と、対前期比14.8ポイントの改善となりました。売上額、収益についても改善となり、業況、売上額、収益いずれもプラス水準に転じました。来期予想については、業況判断D. I. は24.1と、さらに16.6ポイントの改善となり、売上額、収益についても改善を見込んでいます。

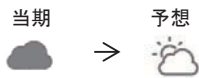
製造業

～雇用、設備を除いて改善、来期は業況と売上額はプラス水準となる見込み～

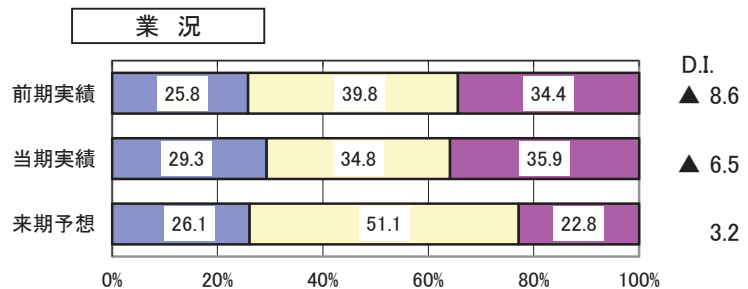
当期実績(2023年 7～9月期実績)
来期予想(2023年10～12月期予想)



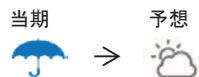
1. 業況



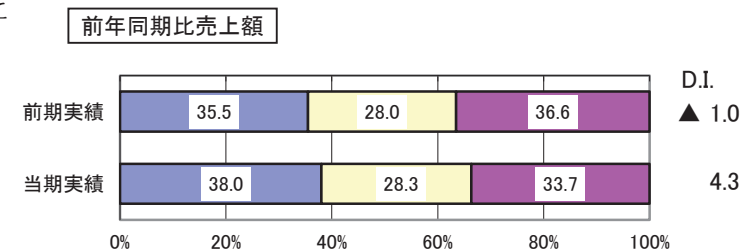
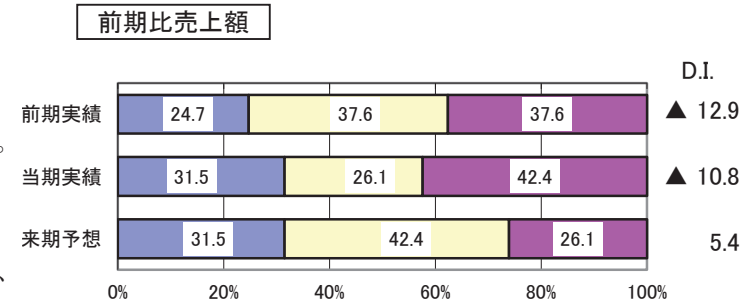
当期の業況判断D. I. は▲6.5と、対前期比2.1ポイントの小幅改善となり、前回調査時における今期見通し(0.0)を6.5ポイント下回りました。来期予想については、D. I. は3.2と、9.7ポイントの改善となり、プラス水準に転じる見込みです。



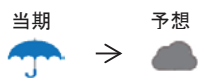
2. 売上額



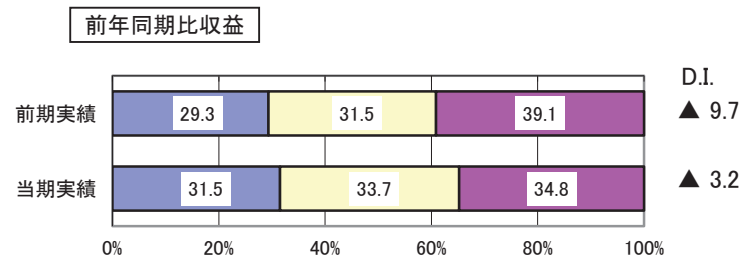
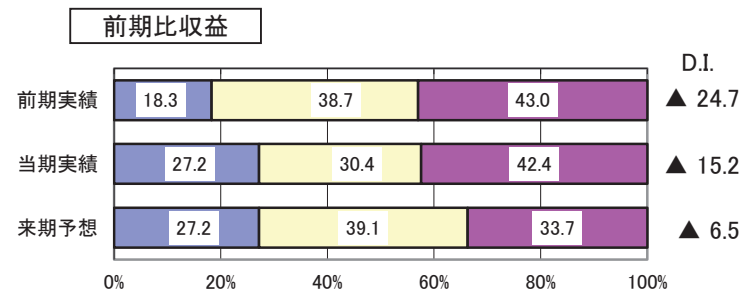
当期の売上額判断D. I. は▲10.8と、対前期比2.1ポイントの小幅改善となりました。対前年同期比の売上額判断D. I. は4.3と、4～6月期から5.3ポイントの改善となりました。来期予想については、D. I. は5.4と、16.2ポイントの改善となり、プラス水準に転じる見込みです。



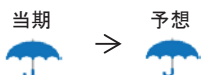
3. 収益



当期の収益判断D. I. は▲15.2と、対前期比9.5ポイントの改善となりました。対前年同期比の収益判断D. I. は▲3.2と、4～6月期から6.5ポイントの改善となりました。来期予想については、D. I. は▲6.5と、さらに8.7ポイントの改善となる見込みです。

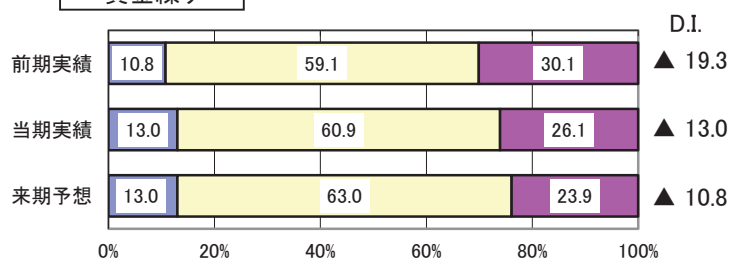


4. 資金繰り

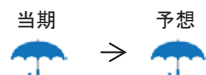


当期の資金繰り判断D. I. は▲13.0と、対前期比6.3ポイントの改善となりました。来期予想については、D. I. は▲10.8と、2.2ポイントの小幅改善となる見込みです。

資金繰り

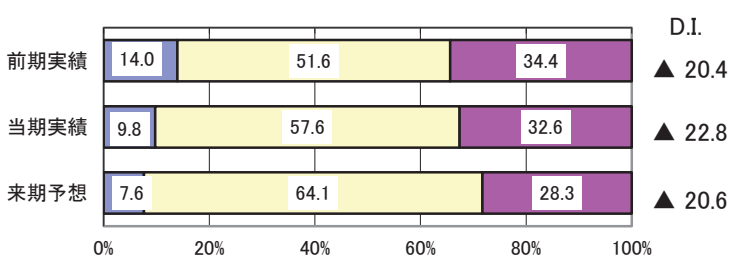


5. 雇用

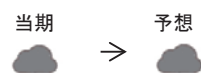


当期の雇用判断D. I. (過剰-不足) は▲22.8と、対前期比2.4ポイントの小幅低下となりました。来期予想については、D. I. は▲20.6と、マイナス水準ながら全業種で最も良い水準の業種となり、人手不足感は小幅に緩和する見込みです。

人手

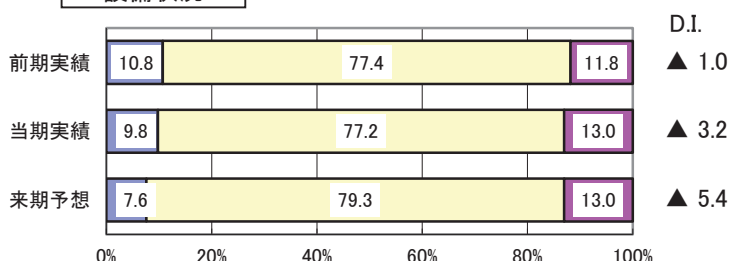


6. 設備状況



当期の設備状況判断D. I. は▲3.2と、対前期比2.2ポイントの小幅低下となりました。来期予想については、D. I. は▲5.4と、不足感は小幅に強まる見込みです。

設備状況



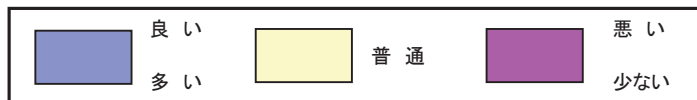
調査先のコメント

- 国内外に原因がある為か、前回同様に景気の戻り方がいまひとつの状況が続いている。
- 業界全般はやや低調だが、当社の取引先業種は比較的堅調である。
- コロナの時と比べ、世の中が動いているので、お金も動いているように感じる。
- とにかく売上が少ない。
- 事業再構築補助金を申請し、工場内に最新のNC複合機を設置。また、本年度は神奈川県補助金を申請して、来年2月には大型プレス機が納入される予定であり、今後は受注活動に専念していく。
- インボイス制度を機に生産管理システムの構築に取り組む。建機業界をウォッチして、これからの業況回復に対応する。
- 中国の不動産バブルの影響が気にかかる。また、国内の政局の動きも不安定要素を抱えている感じがする。
- 売上等が増加しそうな気配はあるが、実際には増加されず、さらに苦しく感じる。
- コロナが落ち着いて景気の回復に期待していたが、思ったほど上向きになってこない。
- 最低賃金の上昇が激しく、不況になると影響が大きいので、パート労働者の社会保険への加入を検討している。
- エネルギー価格の高騰などのため、設備に対する需要は控えていく傾向にあり、金型の購入は減少していくと考えている。但し、メンテナンスは必要であり注力していく。
- 取引先企業の再編等により、作業量が減少している。
- 製造原価が上昇し、労務費、材料、電力、ガス等20%アップ。今後10年で産業大変化時代が来る。

卸売業

～売上額は建設業と並んで最も良い水準に、来期はさらに改善となる見込み～

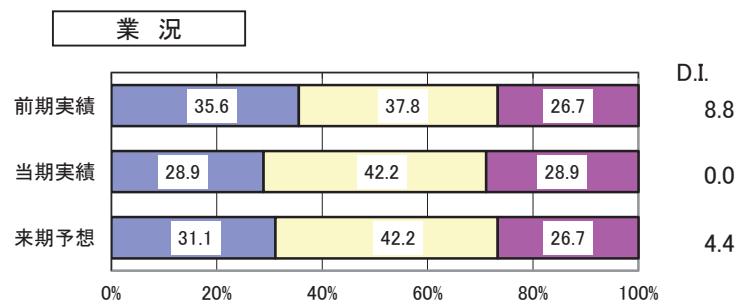
当期実績(2023年 7～9月期実績)
来期予想(2023年10～12月期予想)



1. 業況

当期 → 予想

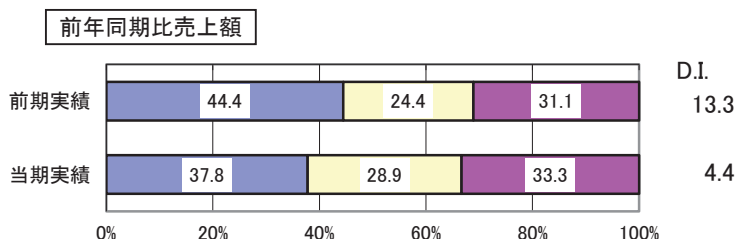
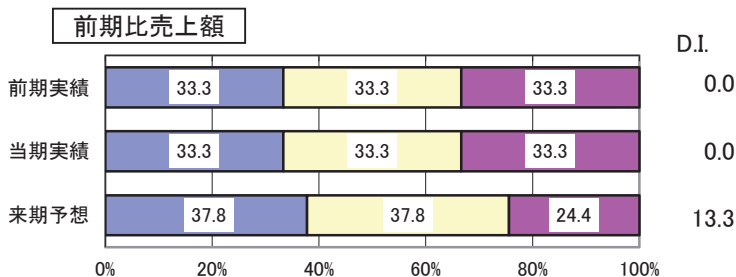
当期の業況判断D. I. は0.0と、対前期比8.8ポイントの低下となりました。前回調査時における今期見通し(6.6)を6.6ポイント下回りました。来期予想については、D. I. は4.4と、4.4ポイントの改善となり、再びプラス水準に転じる見込みです。



2. 売上額

当期 → 予想

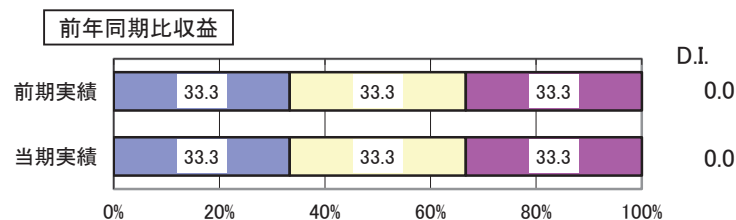
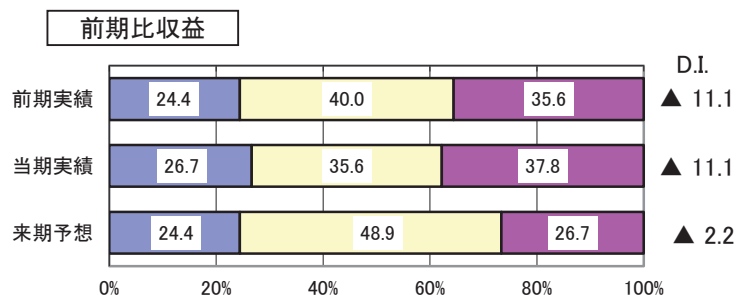
当期の売上額判断D. I. は0.0と、横ばいとなり、建設業と並び、最も良い水準の業種となりました。対前年同期比の売上額判断D. I. は4.4と、4～6月期から8.9ポイントの低下となりました。来期予想については、D. I. は13.3と、13.3ポイントの改善となり、今期実績同様、来期も最も良い水準の業種となる見込みです。



3. 収益

当期 → 予想

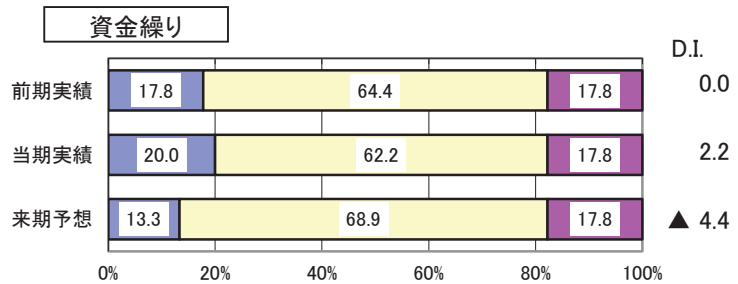
当期の収益判断D. I. は▲11.1と、横ばいとなりました。対前年同期比の収益判断D. I. についても0.0と、4～6月期から横ばいとなりました。来期予想については、D. I. は▲2.2と、8.9ポイントの改善となる見込みです。



4. 資金繰り

当期 予想
☁️ ➔ ☁️

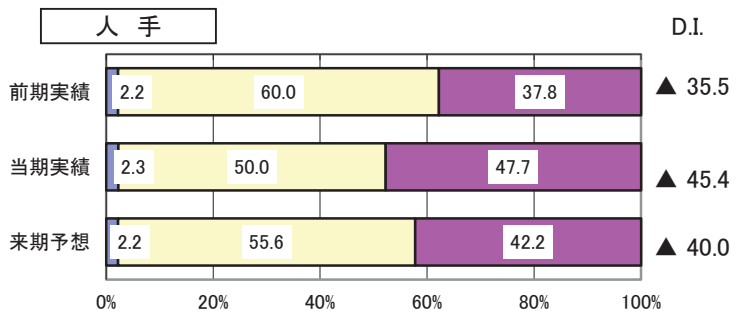
当期の資金繰り判断D. I. は2.2と、対前期比2.2ポイントの小幅改善となり、最も良い水準の業種となりました。来期予想については、D. I. は▲4.4と、6.6ポイントの低下となる見込みです。



5. 雇用

当期 予想
☔ ➔ ☔

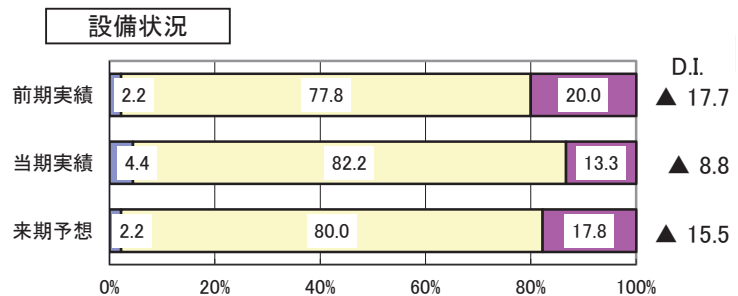
当期の雇用判断D. I. (過剰-不足) は▲45.4と、対前期比9.9ポイントの低下となりました。来期予想については、D. I. は▲40.0と、人手不足感は緩和する見込みです。



6. 設備状況

当期 予想
☁️ ➔ ☔

当期の設備状況判断D. I. は▲8.8と、対前期比8.9ポイントの改善となりました。来期予想については、D. I. は▲15.5と、不足感は再び強まる見込みです。



調査先のコメント

- ガソリン、軽油等の燃料コストが足を引っ張りそうで不安である。
- 2023年8月より、一部商品の価格改訂（値上げ）を実施した。
- 秋にオープンする商業施設の影響がどのようになるか気になっている。

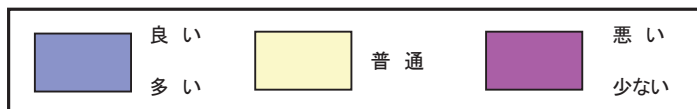
訪日外客数(日本政府観光局)と訪日外国人旅行消費額(観光庁:1次速報)

2023年7月の訪日外客数は、2019年同月比77.6%の2,320,600人となり、200万人を突破した前月から約12%増と大幅な増加となった。国別では、韓国が62.6万人で2019年同月比111.6%で最多であった。次いで台湾が42.2万人（2019年同月比92.0%）、中国が31.3万人（2019年同月比29.8%）と多かった。一方、2023年4～6月期の訪日外国人旅行消費額は、2019年同期比95.1%の1兆2,052億円となった。国別では、台湾が1,739億円（構成比14.4%）と最も大きく、次いで米国1,733億円（同14.4%）、中国1,515億円（同12.6%）韓国1,429億円（同11.9%）の順となった。また、訪日外国人1人当たり旅行支出は20万5千円であった。

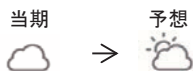
小 売 業

～業況は建設業に次ぎ大きく改善、来期は業況、売上額、収益はプラス水準に～

当期実績(2023年 7～9月期実績)
来期予想(2023年10～12月期予想)

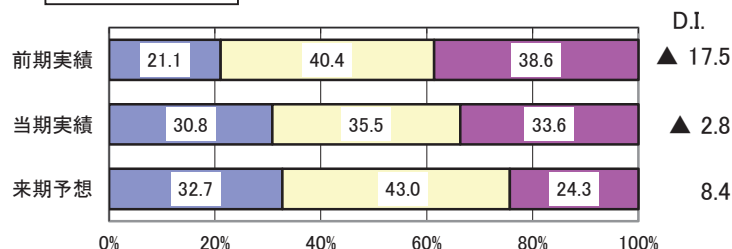


1. 業 況

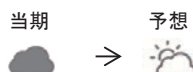


当期の業況判断D. I. は▲2.8と、対前期比14.7ポイントの改善となりました。前回調査時における今期見通し(▲7.0)を4.2ポイント上回りました。来期予想については、D. I. は8.4と、さらに11.2ポイントの改善となり、プラス水準に転じる見込みです。

業 況

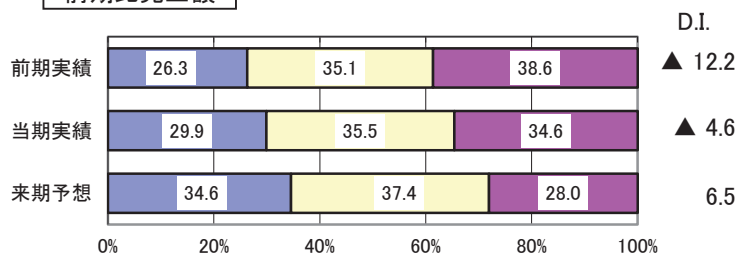


2. 売 上 額

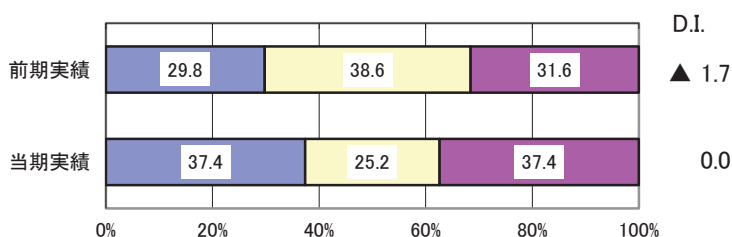


当期の売上額判断D. I. は▲4.6と、対前期比7.6ポイントの改善となりました。対前年同期比の売上額判断D. I. は0.0と、4～6月期から1.7ポイントの小幅改善となりました。来期予想については、D. I. は6.5と、さらに11.1ポイントの改善となり、プラス水準に転じる見込みです。

前期比売上額



前年同期比売上額

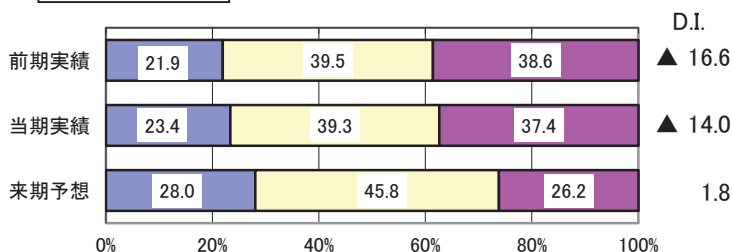


3. 収 益

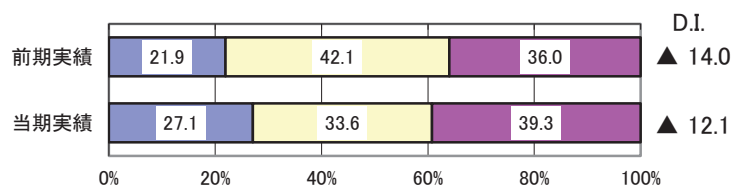


当期の収益判断D. I. は▲14.0と、対前期比2.6ポイントの小幅改善となりました。対前年同期比の収益判断D. I. は▲12.1と、4～6月期から1.9ポイントの小幅改善となりました。来期予想については、D. I. は1.8と、15.8ポイントの改善となり、プラス水準に転じる見込みです。

前期比収益



前年同期比収益

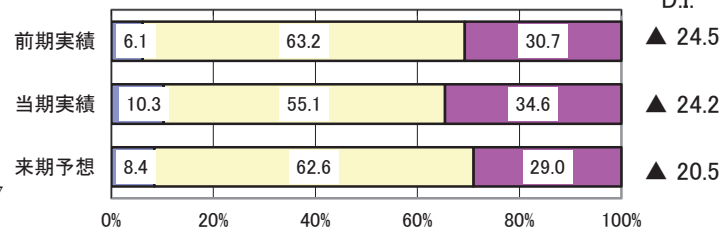


4. 資金繰り

当期 予想
☔ → ☔

当期の資金繰り判断D. I. は▲24.2と、対前期比0.3ポイントの小幅改善となりました。最も厳しい水準の業種となりました。来期予想については、D. I. は▲20.5と、3.7ポイントの改善となりますが、今期実績同様、最も厳しい水準の業種となる見込みです。

資金繰り

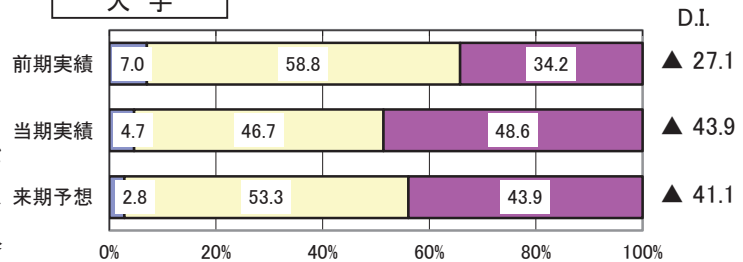


5. 雇用

当期 予想
☔ → ☔

当期の雇用判断D. I. (過剰-不足) は▲43.9と、対前期比16.8ポイントの低下となりました。来期予想については、D. I. は▲41.1と、人手不足感は小幅に緩和する見込みです。

人手

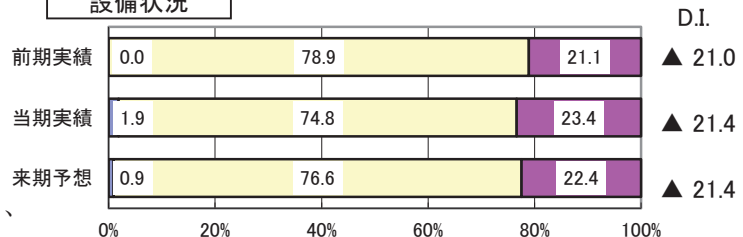


6. 設備状況

当期 予想
☔ → ☔

当期の設備状況判断D. I. は▲21.4と、対前期比0.4ポイントの小幅低下となりました。来期予想については、D. I. は▲21.4と、不足感は横ばいとなる見込みです。

設備状況



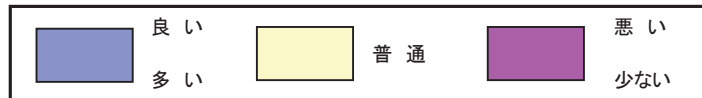
調査先のコメント

- 業績は好調であり、年末の繁忙期に向けて、更なる収益向上を見込んでいる。
- 顧客先で設備投資意欲が少しずつ出てきたような気がする。
- 景気が少し上向きになってきているが、先行きは不透明である。
- 新型コロナウイルス感染症が5類とされ、人流が戻り、来店客数も増えてきた。売上も昨対110～130%と少しずつ以前の状況に戻りつつある。しかし、8月過ぎから感染者数の再拡大の兆しも見えており、各個人、各店の緩みのない対策が必要であると感じる。
- 各国の人々の生活が少しずつ安定し、心が豊かになってくれば、観賞魚販売の趣味の世界の商売も少しは安定してくると思うが、世界のニュースを見ていると災害、気候の変化、病気、仕入れの高騰等、マイナス部分が多く先が読めない。
- シャッターが閉まっている店舗が増加している。病院が移転し、病院跡地に市役所が移転しそうにないのでモチベーションが低下している。
- コロナ禍が落ち着き、市況状況も微増している感じがするが、後期高齢者の購買意欲は低く、中年のほうが高くなっている。お盆においても横須賀中央より東は単価が高い商品が売れ、西は低価格帯が慢性化している。電気、ガソリン、人件費が高騰しているので経費節減の努力をしている。
- 米離れが多い。
- かながわPayが7月27日から始まり、代替や購入者が増えたが、据置のため1～2ヶ月は資金繰りが大変である。

サービス業

～雇用を除いて低下、来期も業況、売上額、収益は低い水準となる見込み～

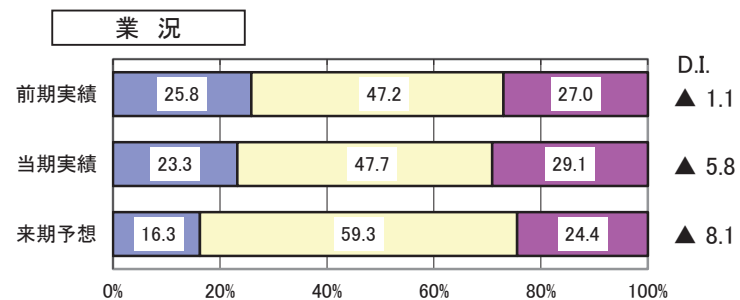
当期実績(2023年 7～9月期実績)
来期予想(2023年10～12月期予想)



1. 業 況

当期 予想
☁️ ➡️ ☁️

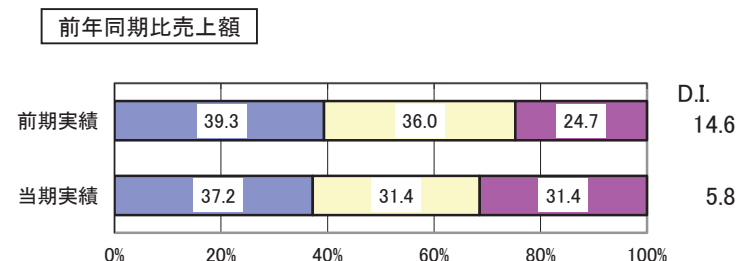
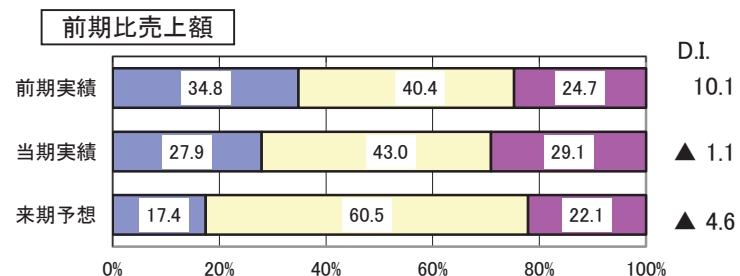
当期の業況判断D. I. は▲5.8と、対前期比4.7ポイントの低下となりました。前回調査時における今期見通し(▲3.3)を2.5ポイント下回りました。来期予想については、D. I. は▲8.1と、2.3ポイント小幅に低下し、最も低い水準の業種となる見込みです。



2. 売上額

当期 予想
☁️ ➡️ ☁️

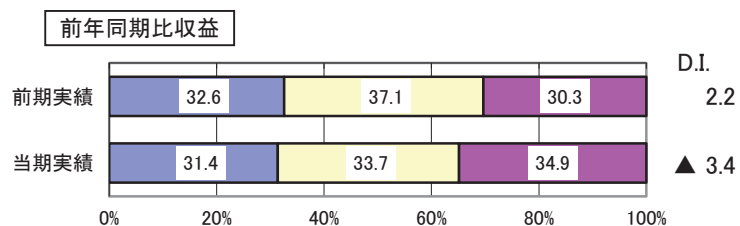
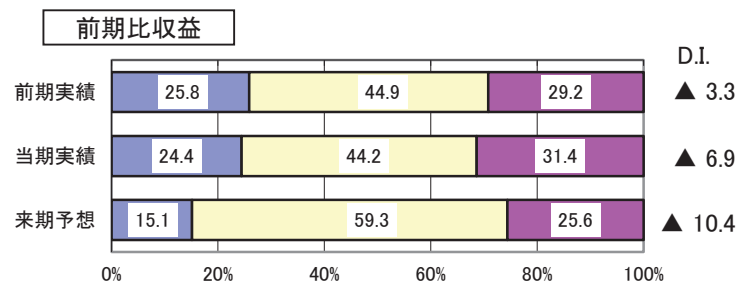
当期の売上額判断D. I. は▲1.1と、対前期比11.2ポイントの低下となりました。対前年同期比の売上額判断D. I. は5.8と、4～6月期から8.8ポイントの低下となりました。来期予想については、D. I. は▲4.6と、さらに3.5ポイントの低下となり、業況同様、最も低い水準の業種となる見込みです。



3. 収 益

当期 予想
☁️ ➡️ ☔

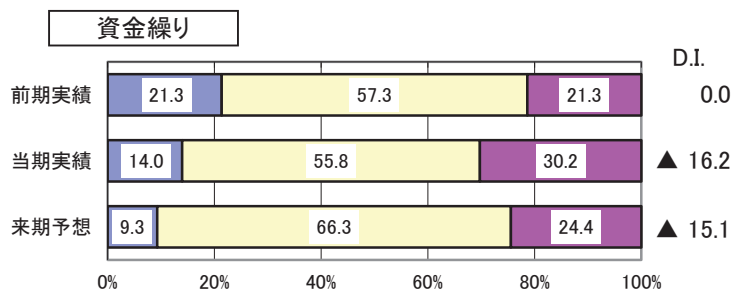
当期の収益判断D. I. は▲6.9と、対前期比3.6ポイントの低下となりました。対前年同期比の収益判断D. I. は、▲3.4と、4～6月期から5.6ポイントの低下となりました。来期予想については、D. I. は▲10.4と、さらに3.5ポイントの低下となり業況、売上額同様、最も低い水準の業種となる見込みです。



4. 資金繰り

当期 予想
☔ → ☔

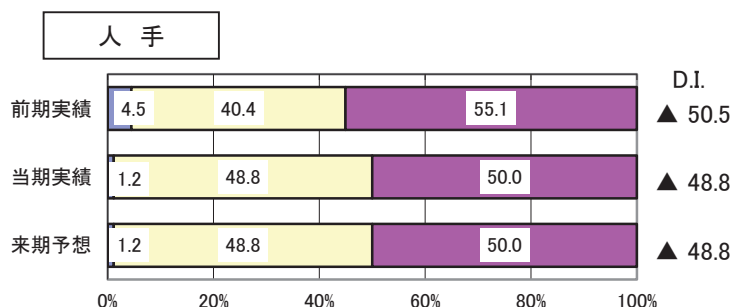
当期の資金繰り判断D. I. は▲16.2と、対前期比16.2ポイントの低下となりました。来期予想については、D. I. は▲15.1と、1.1ポイントの小幅改善となる見込みです。



5. 雇用

当期 予想
☔ → ☔

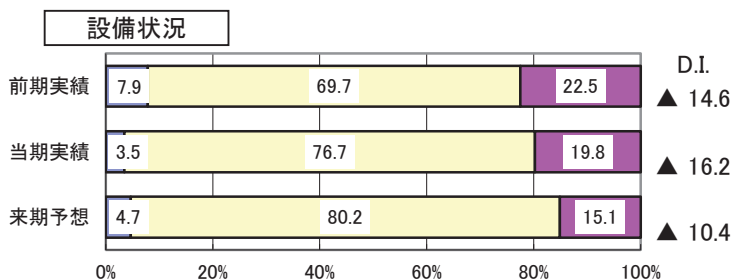
当期の雇用判断D. I. (過剰-不足) は▲48.8と、対前期比1.7ポイントの小幅改善となりましたが、最も厳しい水準の業種となりました。来期予想についても、D. I. は▲48.8と横ばいとなり、人手不足感は今期実績同様、最も厳しい水準となる見込みです。



6. 設備状況

当期 予想
☔ → ☔

当期の設備状況判断D. I. は▲16.2と、対前期比1.6ポイントの小幅低下となりました。来期予想については、D. I. は▲10.4と、不足感は緩和する見込みです。



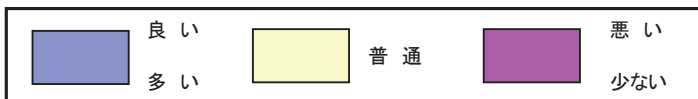
調査先のコメント

- 燃料が高騰している。
- 電気、燃料等の高騰が問題である。
- まだまだ厳しい状況である。
- 必要品全て値上げしており、経費に影響がでている。また、今期に限らずだが、必要な車両の納期が大幅に伸び事業計画にも影響している。
- 7～9月期の業況は良かったが、燃料費高騰により収益増とはならなかった。10月以降は政府による燃料費の補助があると思われ収益増を期待する。2024年法改正に向け先行投資として新たに営業所を開設する予定である。また、人手不足解消のため、10月よりドライバー1名を増員する予定である。
- 業況が思ったより好転しない。
- コロナが5類に分類されたことで、高齢者の受診抑制がかなり改善している。
- 景気は特に変わらない。

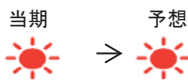
建設業

～業況、売上額、収益は最も良い水準に、来期はさらに改善となる見込み～

当期実績(2023年 7～9月期実績)
来期予想(2023年10～12月期予想)

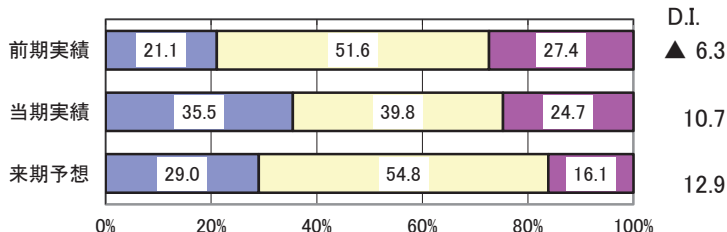


1. 業 況

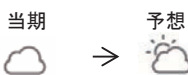


当期の業況判断D. I. は10.7と、対前期比17.0ポイントの改善となり、最も良い水準の業種となりました。前回調査時における今期見通し(4.2)を6.5ポイント上回りました。来期予想については、D. I. は12.9と、2.2ポイントの小幅改善となり、今期実績同様、来期も最も良い水準の業種となる見込みです。

業 況

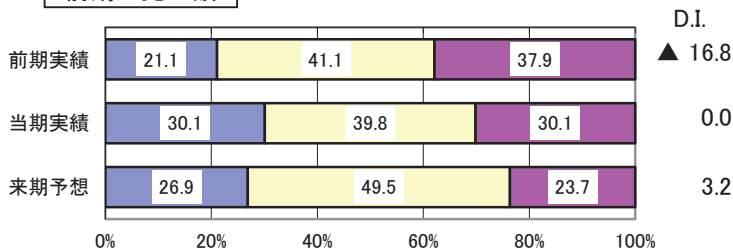


2. 売上額

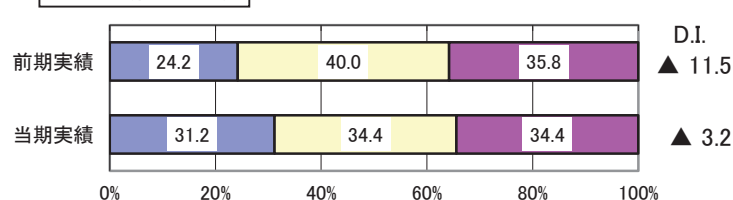


当期の売上額判断D. I. は0.0と、対前期比16.8ポイントの改善となり、卸売業と並び、最も良い水準の業種となりました。対前年同期比の売上額判断D. I. は▲3.2と、4～6月期から8.3ポイントの改善となりました。来期予想については、D. I. は3.2と、さらに3.2ポイント改善となり、プラス水準に転じる見込みです。

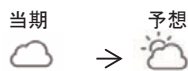
前期比売上額



前年同期比売上額

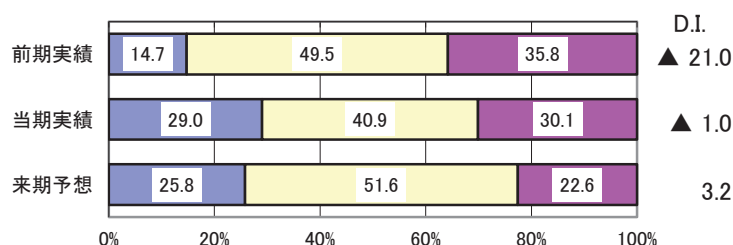


3. 収 益

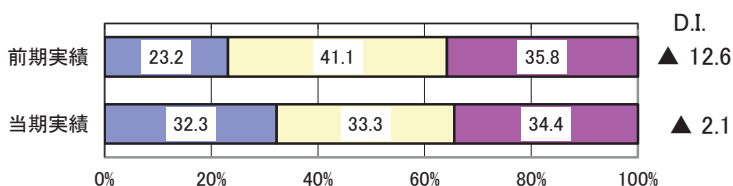


当期の収益判断D. I. は▲1.0と、対前期比20.0ポイントの大幅改善となり、業況、売上額同様、最も良い水準の業種となりました。対前年同期比の収益判断D. I. は▲2.1と、4～6月期から10.5ポイントの改善となりました。来期予想については、D. I. は3.2と、さらに4.2ポイントの改善となり、プラス水準に転じる見込みです。

前期比収益



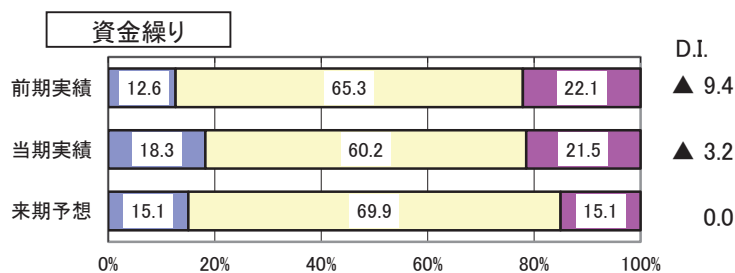
前年同期比収益



4. 資金繰り

当期 予想
☁️ ➔ ☁️

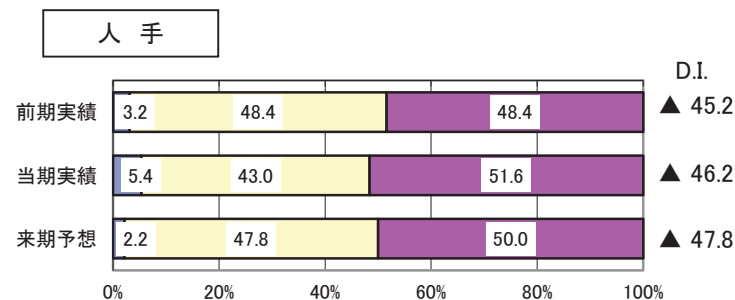
当期の資金繰り判断D. I. は▲3.2と、対前期比6.2ポイントの改善となりました。来期予想については、D. I. は0.0と、さらに3.2ポイントの改善となる見込みです。



5. 雇 用

当期 予想
☔ ➔ ☔

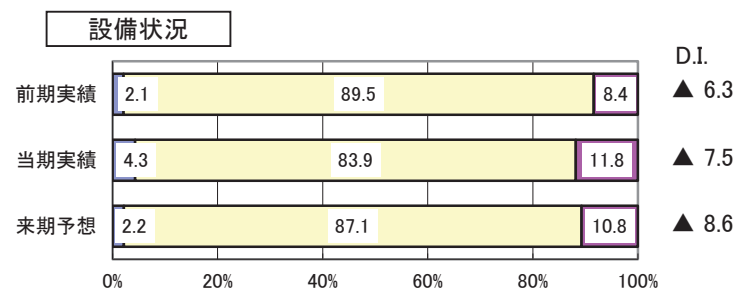
当期の雇用判断D. I. (過剰-不足) は▲46.2と、対前期比1.0ポイントの小幅低下となりました。来期予想については、D. I. は▲47.8と、さらに人手不足感は強まる見込みです。



6. 設備状況

当期 予想
☁️ ➔ ☁️

当期の設備状況判断D. I. は▲7.5と、対前期比1.2ポイントの小幅低下となりました。来期予想については、D. I. は▲8.6と、不足感はさらに強まる見込みです。



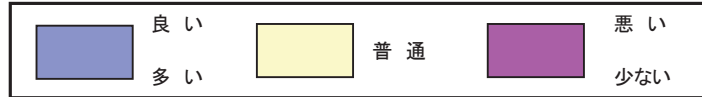
調 査 先 の コ メ ン ト

- 前回同様、人手不足がより一層進んでいる。また、人件費、資材の高騰もあり、利益率は今後も厳しくなると思われ、当社の改革のスピードを早める必要がある。
- 5～10年後に向け、人手不足が業界全体で加速すると思う。効率よく働ける仕組みづくりが急がれる。
- 原油高、円安による原材料費、運送費の値上げが収益を圧迫している。
- ガソリン価格の高騰は、早急に国の対策を望んでいる。電気代、水道代、食品等の値上げで中小企業は節約、工夫を凝らしても現状では、利益率が下がる。横須賀市のプレミアム付商品券の申し込みが開始されるので期待したい。
- リモートワークの普及により、郊外型マンションの需要が昨年より20%程度増加しており、人手不足、経費の増大を招いている。
- 東京圏内から湘南地域への移住者が前回に変わらず多い状況が続いており、そこに消費ターゲットを置くようにしている。地元客については、物価高及び金利上昇の影響もあり、消費マインドが一時的に下がっていると思われる。

不動産業

～業況、売上額、収益は最も厳しい水準も、来期は大幅改善となる見込み～

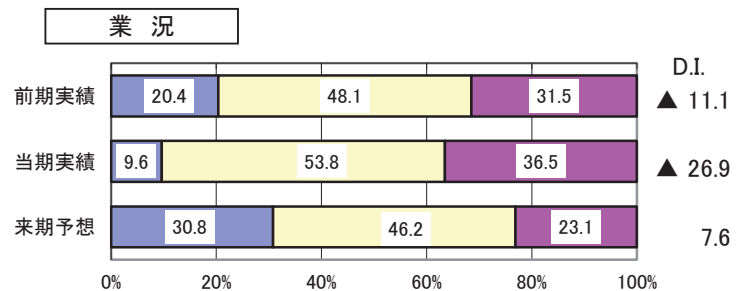
当期実績(2023年 7～9月期実績)
来期予想(2023年10～12月期予想)



1. 業 況



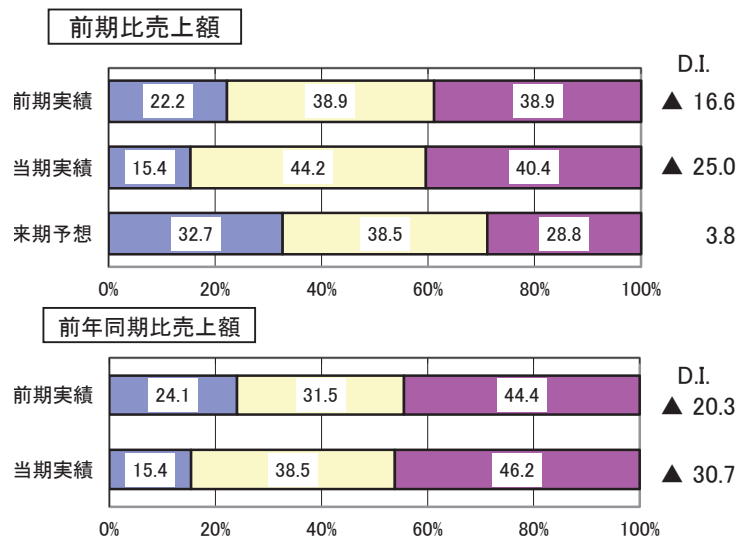
当期の業況判断D. I. は▲26.9と、対前期比15.8ポイントの低下となり、最も厳しい水準の業種となりました。前回調査時における今期見通し(▲5.5)を21.4ポイント下回りました。来期予想についてはD. I. は7.6と、34.5ポイントの大幅改善となり、プラス水準に転じる見込みです。



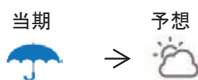
2. 売上額



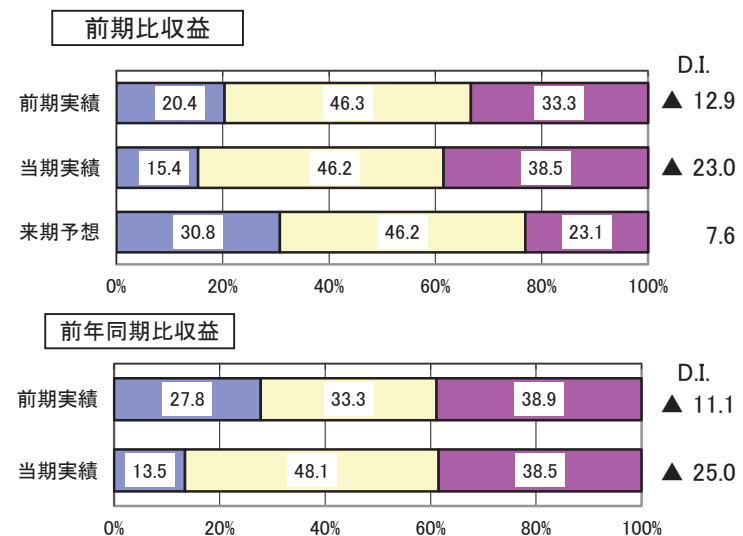
当期の売上額判断D. I. は▲25.0と、対前期比8.4ポイントの低下となり、業況同様、最も厳しい水準の業種となりました。対前年同期比の売上額判断D. I. についても▲30.7と、4～6月期から10.4ポイント低下となりました。来期予想については、D. I. は3.8と、28.8ポイントの大幅改善となり、プラス水準に転じる見込みです。



3. 収 益



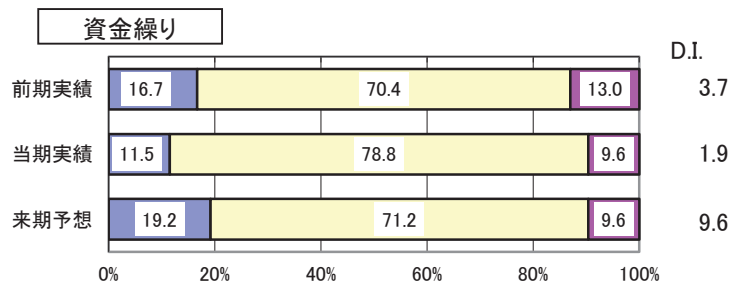
当期の収益判断D. I. は▲23.0と、対前期比10.1ポイントの低下となり業況、売上額同様、最も厳しい水準の業種となりました。対前年同期比の収益判断D. I. は▲25.0と、4～6月期から13.9ポイントの低下となりました。来期予想については、D. I. は7.6と、30.6ポイントの大幅改善となり、最も良い水準の業種となる見込みです。



4. 資金繰り

当期 予想
☁ → ☁

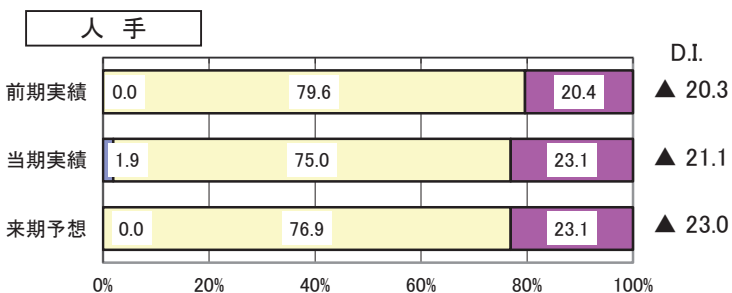
当期の資金繰り判断D. I. は1.9と、対前期比1.8ポイントの小幅低下となりました。来期予想については、D. I. は9.6と、7.7ポイント改善となり、収益同様、最も良い水準の業種となる見込みです。



5. 雇 用

当期 予想
☂ → ☂

当期の雇用判断D. I. (過剰－不足) は▲21.1と、対前期比0.8ポイントの小幅低下となり、マイナス水準ながらも、最も良い水準の業種となりました。来期予想については、D. I. ▲23.0と、人手不足感は小幅に強まる見込みです。

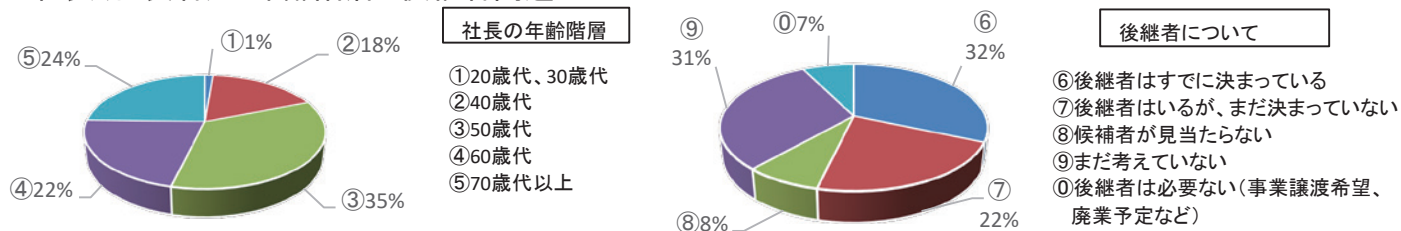


調 査 先 の コ メ ン ト

- 全体的に動きが鈍い。
- 仕入コストの上昇が止まらず、販売価格の上昇も続いたため、販売状況が悪化している。
- 物価高騰水準以上に賃上げができなければ、個人消費は更に落ち込むと思われる。木材プレスカット業者が県外より営業に来社するが、戸建て需要は非常に厳しい。
- 新型コロナウイルスもひと段落し、景気回復基調になると期待していたが、大企業、特に輸出関連企業及び食料品関係等、値上げできた企業は利益を大きく出しているが、中小企業は厳しい状況下にある。不動産関係は、全般的に特に悪いと感じる。建築費も含め高値止まりで物件売買の動きが鈍く、売上、利益とも低調である。
- 工事価格が上がっている。
- 価格もピークに達し、低下傾向になるように考えている。

特別調査 ……「中小企業の将来を見据えた事業承継について」

1. 社長（代表者）の年齢階層と後継者問題について



社長（代表者）の年齢階層については、③「50歳代」が35%と最も多く、次いで⑤「70歳代以上」が24%、④「60歳代」が22%と、60歳代以上で合計46%と、5割近くを占めた。後継者については、⑦「後継者はいるが、まだ決まっていない」が22%、⑧「候補者が見当たらない」が8%、⑨「まだ考えていない」が31%で、⑥「後継者はすでに決まっている」は32%と、後継者が決まっている企業は3社に1社の割合であった。

2. 現時点における事業承継の考え方について

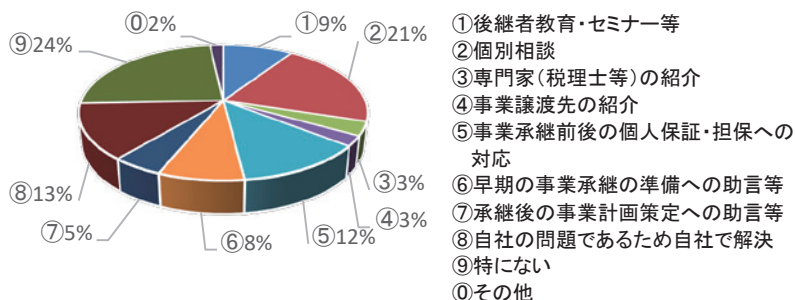
現時点における事業承継の考え方については、「子供（娘婿などを含む）に承継が」が40%、「その他の同族者（兄弟、親戚など）に承継が」が6%で、同族者に承継するとの回答が合計46%と、5割近くを占めた。一方、「非同族の役員、従業員に承継が」が16%、「非同族の社外人材に承継が」が2%と、同族者以外に承継するとの回答は合計18%であった。また、「現時点で考えるつもりはない」との回答も20%あった。

3. 事業承継を行う際の問題点について

事業承継を行う際の問題点については、「事業の将来性」が248社と最も多く、次いで「後継者の力量」が194社、「取引先との信頼関係の維持」が130社と多かった。他には「借入金・個人保証の引継ぎ」が114社、「従業員の雇用維持」が97社と比較的多い回答だった。（最大3つまで複数回答）

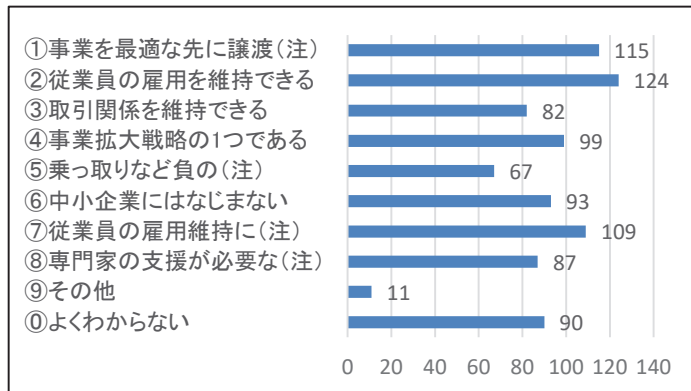
4. 事業承継を進めていく上で、信用金庫に期待すること

信用金庫に期待することについては、②「個別相談」が21%と最も多く、次いで⑤「事業承継前後の個人保証・担保への対応」が12%、①「後継者教育・セミナー等」が9%であった。一方、⑨「特になし」が24%と最も多い回答となり、⑧「自社の問題であるため自社で解決」の回答も13%あった。



5. M&Aに対する認識について

M&Aに対する認識については、①「事業を最適な先に譲渡できる」が115社、②「従業員の雇用を維持できる」が124社、③「取引関係を維持できる」が82社、④「事業拡大戦略の1つである」が99社と、肯定的に捉える回答が合計420社と多数を占めた。一方、⑤「乗っ取りなど負のイメージがある」が67社、⑥「中小企業にはなじまない」が93社、⑦「従業員の雇用維持に不安がある」が109社と、否定的に捉える回答も合計269社と、少なからずあった。（最大3つまで複数回答）



（注）グラフ①「事業を最適な先に譲渡できる」 グラフ⑤「乗っ取りなど負のイメージがある」 グラフ⑦「従業員の雇用維持に不安がある」 グラフ⑧「専門家の支援が必要なものである」

株式会社 北村商会

代 表 者：北村 理和子
本 社 所 在 地：横須賀市田浦町 6 丁目 46
創 業：明治 38 年（1905 年）
事 業 内 容：建設資材卸売業

創業となる 1905 年以降、“お客様優先”の理念に基づき、建設資材や産業機械の提供、金属工事・工場設備工事など、物づくりの世界で社会に貢献し続けている同社の経営者のお話を聞かせて頂きました。



I. 景況について

当社の現在の景況は、コロナ禍を越え、ようやく落ち着いてきたと感じています。2 年程前は、建設業界でも、海外からの部品の調達に間に合わないことによる工期の遅れが発生し、工事が完了せず代金が頂けないということもありました。当社では、大きな影響こそありませんでしたが、案件が減少し、原価の高騰に対して販売価格に転嫁することができず、総体的に売上が伸びないという影響がありました。そのような状況下で経費削減や受注形態の見直しを行い、業務効率化を図りました。営業面では、お客様とのコミュニケーションをより一層図るよう徹底し、単に要望を聞くだけではなく、気配りを大切にして強固な信頼関係の構築に注力したことが、今日の当社の営業力にも活かされていると実感しています。また、当社の強みの一つでもある地の利を活かした商売も大きな支えになっています。地元横須賀で米海軍基地や防衛省関係のお客様から重宝され、安定した受注を得ることができています。更なる継続的

～必要とされる企業を目指して～

な取引ができるよう今後も務めて参ります。

今後の景況については、益々価格の競争が熾烈になると感じています。同業他社と比較したときに、同じ価格なら当社を選んでいただける商売をこれからも続けていきたいと思えます。

II. お客様に寄り添った営業

当社では、経験を活かした提案型の営業を心がけています。より価格を抑えられるような提案や納期に合わせた製品の提案等、代替できる製品があれば、お客様のニーズに合った製品を提供しています。商社という立場であり、お客様にアドバイスやコンサルティングを行うのが当社の役割だと考えています。製品の知識や特長は、永年の経験により培われておりますが、若手社員も先輩社員から英知を吸収しつつ、従業員一同お客様第一の営業を行っています。

III. 会社の成長のために

現在当社では、DX を駆使した業務効率化に取り組んでいます。在庫管理の効率化を図るため入出庫管理をソフトウェアでできるようにしています。無駄な在庫を減少させ、安価で回転率の高い商品の把握が可能になります。また、DX 化することで在庫数が見える化し、全従業員が確認、共有できるようになります。



横須賀の戦後復興の恩人 デッカー

司令官像と先代 北村末蔵



これからも経験、実績、知識を活かし、お客様に寄り添ったサービスに努めていきます。

代表取締役社長 北村 理和子



Enoshima



Yokohama



Yokosuka Uruga



Misaki Maguro

かなしんデジタル観光サイト

かながわ 魅力情報満載！

県内4つのエリアから、
話題の施設や隠れた名店など
多彩なお店をご紹介！
皆様のご来店、ご利用を
お待ちしております！

「かなしんデジタル観光サイト」では、当金庫エリア内の
観光活性化を応援するために、地元で活躍するお店を
ホームページで紹介しております！



楽しさ満載「Active」と
美味しいグルメ「Food」

かなしん
デジタル観光サイト



Please access!

かなしん 検索



※最新の情報につきましては、各施設のHPをご確認ください。(各施設のHPは外部サイトへのリンクとなります)
※一部施設では特典をご用意しております。ご利用の際はサイト画面をご提示ください。
※特典内容や条件は施設によって異なります。また、特典内容は予告なく変更または終了する場合がございます。(他の特典やクーポンとの併用不可)

かなしんデジタル観光サイトは、日本財団「わがまち基金」を活用した地域創生支援スキームにおける助成事業に基づき、かながわ信用金庫の
営業エリア内の観光活性化事業の取り組みとしてホームページ上で公開しております。日本財団「わがまち基金」は、地域に新たなお金の流れ
を創出することで、地域の課題解決や地域の独自の強みを活かした自立的かつ持続可能な社会の創生を図ることを目的としたプロジェクトです。



本レポートは、情報提供のみを目的とした標記時点における当金庫の考え方を示したものです。施策実施等に関する最終決定は、ご自身の判断でなされますようお願いいたします。また、この資料は、当金庫が信頼できると考える情報源から得た各種データに基づいて作成されていますが、その情報の正確性および完全性について当金庫が保証するものではありません。

発行 かながわ信用金庫
住所 〒238-0004 横須賀市小川町7番地
TEL 046-826-1515(平日9:00~17:00)
編集 株式会社 かなしんトータルサービス
住所 〒235-0023 横浜市磯子区森1丁目10番10号
TEL 045-263-6363(平日9:00~17:00)